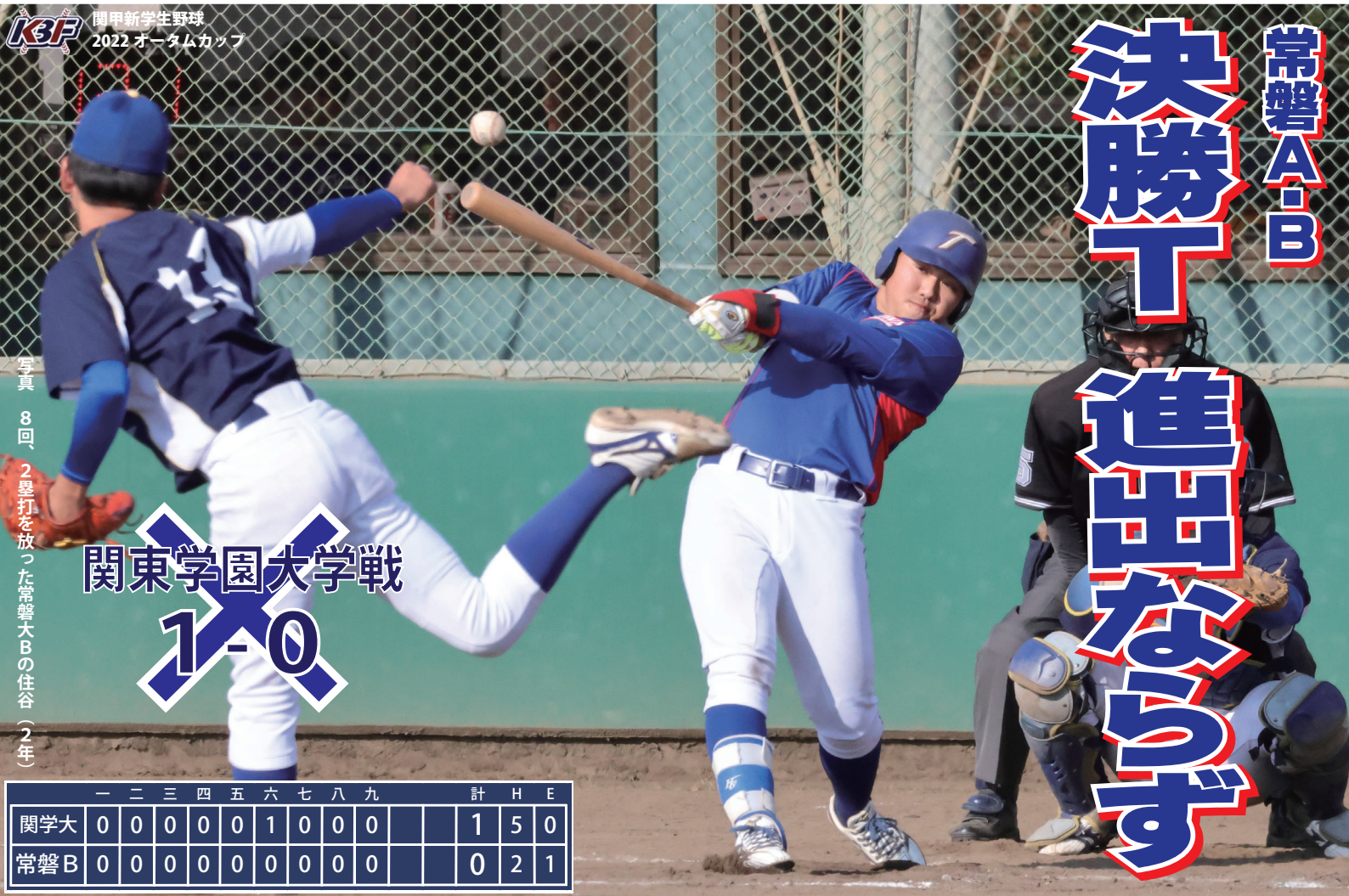




KBF 関甲新学生野球
2022 オータムカップ



常磐A・B
**決勝下
進出ならず**

関東学園大学戦

1-0

写真 8回、2塁打を放った常磐大Bの住谷(2年)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
関学大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	0
常磐B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1

関甲新学生野球・オータムカップ、常磐大学Bは最終戦の関東学院大学戦を 1-0 で敗北した。常磐大学Bは1勝3敗のCブロック4位、常磐大学Aは1勝2敗のBブロック3位に終わり、いずれも決勝トーナメントに進むことができなかった。

【11/12 常磐大学野球場】常磐大学Bは初回、先発の助川凱(1年)が先頭に四球を出し、1塁走者に盗塁を仕掛けられるものの、捕手の石塚大樹(2年)が刺し、1死とする。その後は被安打を受けるものの、初回を無失点に抑える。1回裏、常磐大学Bの攻撃は、走者を出すことが出来ず、三者凡退に終わる。

その後は両チームともに投手戦が続くが、6回表、関東学園大学の攻撃。1死から3番がレフトへの安打を放ったところでレフトが後逸し1死3塁のピンチとなる。続く4番にレフトへの適時打で1点を先制される。反撃したい常磐大学だが、なかなか走者を出すことが出来ない。8回裏、1死から8番住谷前仁がライトへの2塁打を放ち、1死2塁と得点圏のチャンスを作る。しかし、後続の9番国井景斗(1年)、1番西大條雄士が2者連続で空振り三振となり、チャンスを生かすことが出来ない。

9回、常磐大学はBは、投手を助川から飯田洋介に交代した。1死から四球、死球と連続で出塁を許すものの1死 1,2 塁からセ

カンドへのゴロでダブルプレーをとり無失点に抑える。最終回反撃したい常磐大学であったが、打者3人に抑えられ、0-1での敗戦となった。

先発した助川は8回1失点と、完璧な投球だったが、打線が2安打に終わり、助川を援護することが出来なかった。

バッテリーは、助川、飯田、石塚。 (文・遠藤優太)

星取表 (2022年11月13日現在)

		関東学園	上武C	常磐B	山学B	群馬	試合	勝	負	勝率
2	関東学園大		☆	☆	★	☆	4	3	1	.750
3	上武大C	★		☆	★	☆	4	2	2	.500
4	常磐大B	★	★		★	☆	4	1	3	.250
1	山梨学院大B	☆	☆	☆		☆	4	4		1.000
5	群馬大	★	★	★	★		4	0	4	.000

		常磐A	上武B	平成国際	茨城	試合	勝	負	勝率
3	常磐大A		★	★	☆	3	1	2	.333
2	上武大B	☆		★	☆	3	2	1	.667
1	平成国際大	☆	☆		☆	3	3		1.000
4	茨城大	★	★	★		3		3	.000